

多職種で行う エンドオブライフ・ケア研修 へのおさそい

職場・地域のなかまとの学びを支援します

私たちは、「エンドオブライフ・ケア協会」(下記参照)の認定を受けたファシリテータとして、
県内各地で、「多職種で行うエンドオブライフ・ケア研修」を実施しています。



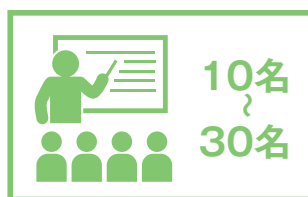
教材
不要

ファシリテータ3、4名が出向き、
教材はすべて当方で準備しま
す(講師料、教材費は不要)。



双方向

講義(双方向性)、グループワ
ーク、ロールプレイをファシリテ
ータの進行で行います。



10名
~
30名

10数名~30数名が適していま
す。多職種でも単一職種でも学
習効果のある内容です。



3~4h

通常3~4時間のコースですが、
時間設定については、事前に相
談の上変更可能です。

研修の内容

- 援助的コミュニケーションの基本
- 人生の最終段階にある人の苦しみと
支えをキャッチする
- 支えを強めるための関わり など

「エンドオブライフ・ケア協会」について

全国の医療・介護職を対象に、人生の最終段階にある人をケアできる人材育成プログラムを実施している団体です(理事:小澤竹俊氏、長尾和宏氏ほか、顧問:柏木哲夫氏ほか)。そのプログラムの一つである「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」(2日間コース)は、全国7都市において、3年間で約40回開催され、2000名以上が受講しています。山口県からも70数名が受講しており、定期的に「ELC山口の集い」を開き継続学習を行っています。

「人生の最終段階」にある人、「苦しみ」を抱えた人の援助に関心がある方、
職場・地域のなかまと学ぶ機会を持ちたい方は、お気軽に、ご連絡ください。

連絡先

「ELC山口」ファシリテータ

代表/宇部協立病院 立石彰男(宇部協立病院 地域連携・在宅医療科)

☎ 070-3786-9514 ✉ elc_yamaguchi@yahoo.co.jp